

北上川下流河川事務所 平成28年度 事業概要

北上川下流河川事務所では、北上川下流及び鳴瀬川沿川地域の安全で安心できる社会基盤の形成、良好な水辺環境の保全、個性豊かで活力ある地域づくりの支援を目指し、河川事業の推進を図ります。

平成28年度は、昨年9月に発生した関東・東北豪雨を受けて策定した「水防災意識社会 再構築ビジョン」※に基づき、北上川下流河川事務所では、約35億円の予算をもって、流下能力対策（築堤、河道掘削）、堤防裏法尻補強を行うなど、ハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進します。

東日本大震災により被災した堤防等の河川管理施設について、平成28年度約147億円の予算をもって、旧北上川の復興推進を図ります。

○国土交通省計上分

1. 河川事業（鳴瀬川 約2,315百万円、北上川下流 約1,192百万円）

北上川・旧北上川・江合川・鳴瀬川・吉田川など、管理区間において、堤防整備及び河道掘削等を実施します。

○復興庁計上分

1. 東日本大震災復興河川改修事業（北上川下流 約7,713百万円）

平成23年の東日本大震災による被害を踏まえ、堤防整備・液状化対策を実施するとともに、堤防敷にかかる用地取得に取り組みます。

2. 東日本大震災災害復旧事業（北上川下流 約7,012百万円）

平成23年の東北地方太平洋沖地震による津波により甚大な被害を受けた河口部の堤防整備等を実施し、旧北上川の復興推進を図ります。

平成28年度は、引き続き堤防・護岸等の復旧を実施するとともに、堤防敷にかかる用地取得に取り組みます。

上記金額は、業務取扱費を除く金額（工事関係費）で記載。

北上川下流河川事務所記者発表についてはホームページでご覧になれます。
ホームページアドレス【<http://www.thr.mlit.go.jp/karyuu/index.html>】

※「水防災意識社会 再構築ビジョン」アドレス

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000899.html

発表記者会：石巻記者クラブ、古川記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 北上川下流河川事務所

宮城県石巻市蛇田字新下沼80 電話：0225-95-0194（代表）

技術副所長（事業）

しろと
白戸

こう
孝

（内線204）

工務第一課長

たかだ
高田

ひろほ
浩穂

（内線311）

事業の方針

北上川下流河川事務所では、平成28年度も引き続き、北上川下流及び鳴瀬川沿川地域の安全で安心できる社会基盤の形成、良好な水辺環境の保全、さらには個性豊かで活力ある地域づくりの支援を目指して、河川事業の推進を図ります。

河川事業では、北上川・旧北上川・江合川・鳴瀬川・吉田川など総延長210.5km、総面積7,440haにおよぶ所管区域の改修工事・維持管理等を実施しています。

昨年9月に発生した関東・東北豪雨のような出水に対応するため、流下能力対策（築堤、河道掘削）及び、堤防裏法尻補強等を行い、治水安全度の向上を図ります。

また、河川復旧・復興事業では、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により被災した北上川河口部・旧北上川河口部・鳴瀬川河口部の堤防等の復旧・復興工事を実施しており、引き続き堤防等の整備推進及び、堤防整備に伴う用地取得の推進を図ります。

平成28年度 北上川下流河川事務所事業費総括表

国土交通省計上分
(事業費)

(単位:億円)

予 算 科 目	平成28年度(当初)		平成27年度(当初)		H28/H27当初比		備考
	北上川下流 鳴瀬川	計	北上川下流 鳴瀬川	計	北上川下流 鳴瀬川	計	
河 川 事 業							
	河 川 一 般 改 修 費	10.91	32.01	12.66	36.09	0.86	0.89
	21.10		23.43		0.90		
河 川 工 作 物 関 連 應 急 対 策 事 業 費	0.00	2.05	1.20	3.13	0.00	0.65	
	2.05		1.93		1.06		
総 合 水 系 環 境 整 備 事 業 費	1.01	1.01	1.51	1.51	0.67	0.67	
	-		-		-		
河 川 事 業 計	11.92	35.07	15.37	40.73	0.78	0.86	
	23.15		25.36		0.91		
合 計	35.07		40.73		0.86		

※受託工事費・調査費等は除く

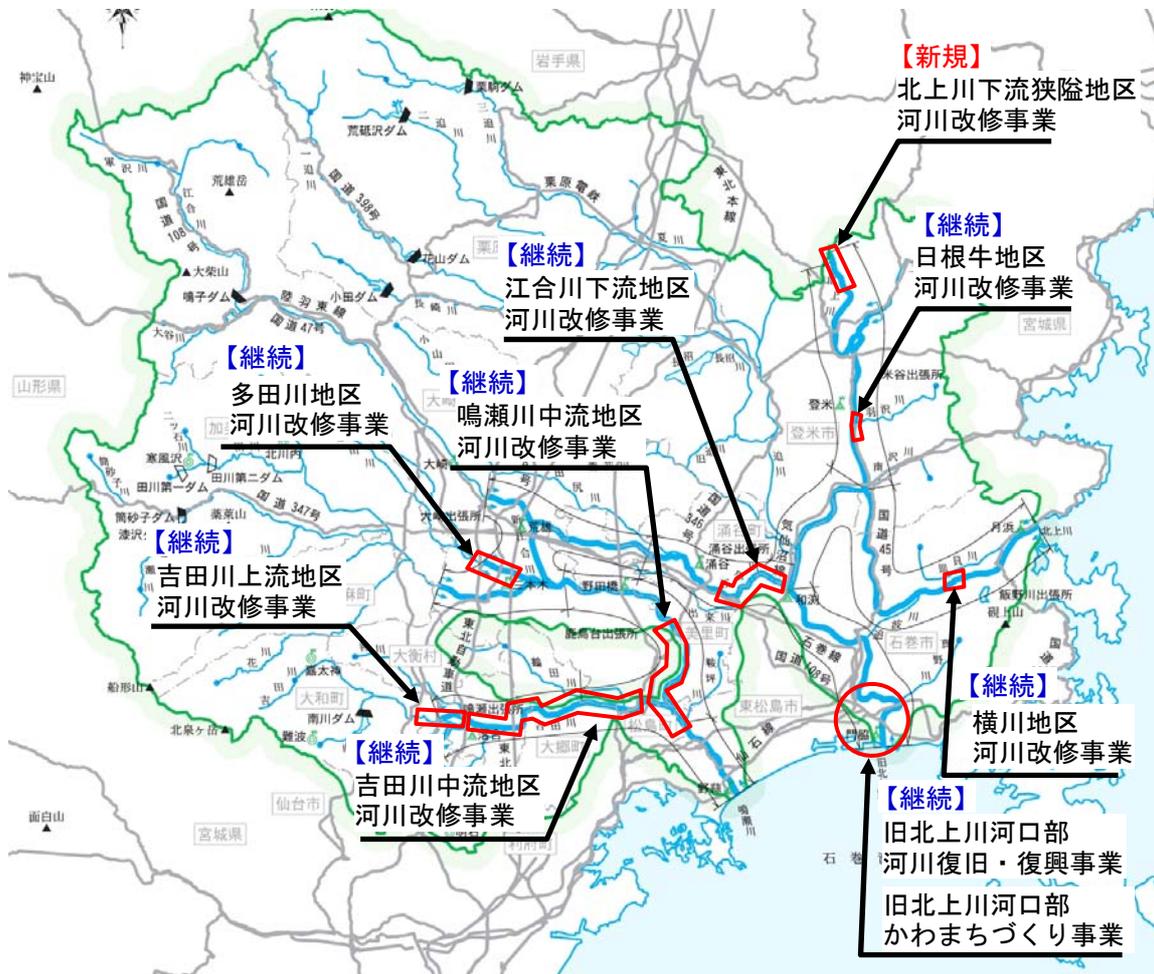
<<参考>>復興庁計上分
(事業費)

(単位:億円)

予 算 科 目	平成28年度(当初)		平成27年度(当初)		H28/H27当初比		備考
	北上川下流	計	北上川下流	計	北上川下流	計	
東日本大震災 復旧・復興河川整備事業							
河 川 復 興 費	77.13	77.13	62.20	62.20	1.24	1.24	
東日本大震災 災害復旧事業							
河 川 等 災 害 復 旧 事 業 費	70.12	70.12	182.81	182.81	0.38	0.38	
合 計	147.25		245.01		0.60		

※上記金額は、業務取扱費を除く金額(工事関係費)で記載。

管内河川及び主要事業箇所位置図



鳴瀬川中流地区河川改修事業

おさきし とおだぐんみさとまち
(大崎市、遠田郡美里町)



計画概要

- ① 事業年度 : 平成27年度～平成30年代(予定)
- ② 計画諸元 : 堤防整備
- ③ 平成28年度河川事業費: 約2,110百万円 ※鳴瀬川全体の河川改修費

事業概要

本事業は、鳴瀬川の治水安全度の向上を図るものであり、鳴瀬川中流地区の完成堤化を行うものです。

今年度は、特に、平成27年9月関東・東北豪雨による出水で、堤防天端付近まで水位が上昇していることから、大崎市(鳴瀬川右岸)及び美里町(鳴瀬川左岸)において堤防整備を実施し、事業の推進を図ります。

多田川地区河川改修事業

おさきし
(大崎市)



計画概要

- ① 事業年度 : 平成27年度～平成30年度(予定)
- ② 計画諸元 : 堤防整備
- ③ 平成28年度河川事業費: 約2,110百万円 ※鳴瀬川全体の河川改修費

事業概要

堤防の高さ・幅が不足し、背後に人口資産が密集する鳴瀬川支川の多田川地区では、鳴瀬川本川の背水により洪水継続時間が長時間に及ぶ特性もあるため、当該地区の治水安全度の確保を図っていきます。

今年度は、特に、平成27年9月関東・東北豪雨による出水で、堤防天端付近まで水位が上昇していることから、堤防整備を実施し、事業の推進を図ります。

吉田川上流地区河川改修事業

くろかわぐんたいわちょう
(黒川郡大和町)



計画概要

- ① 事業年度 : 平成17年度～平成30年代(予定)
- ② 計画諸元 : 河道掘削
- ③ 平成28年度河川事業費: 約2,110百万円 ※鳴瀬川全体の河川改修費

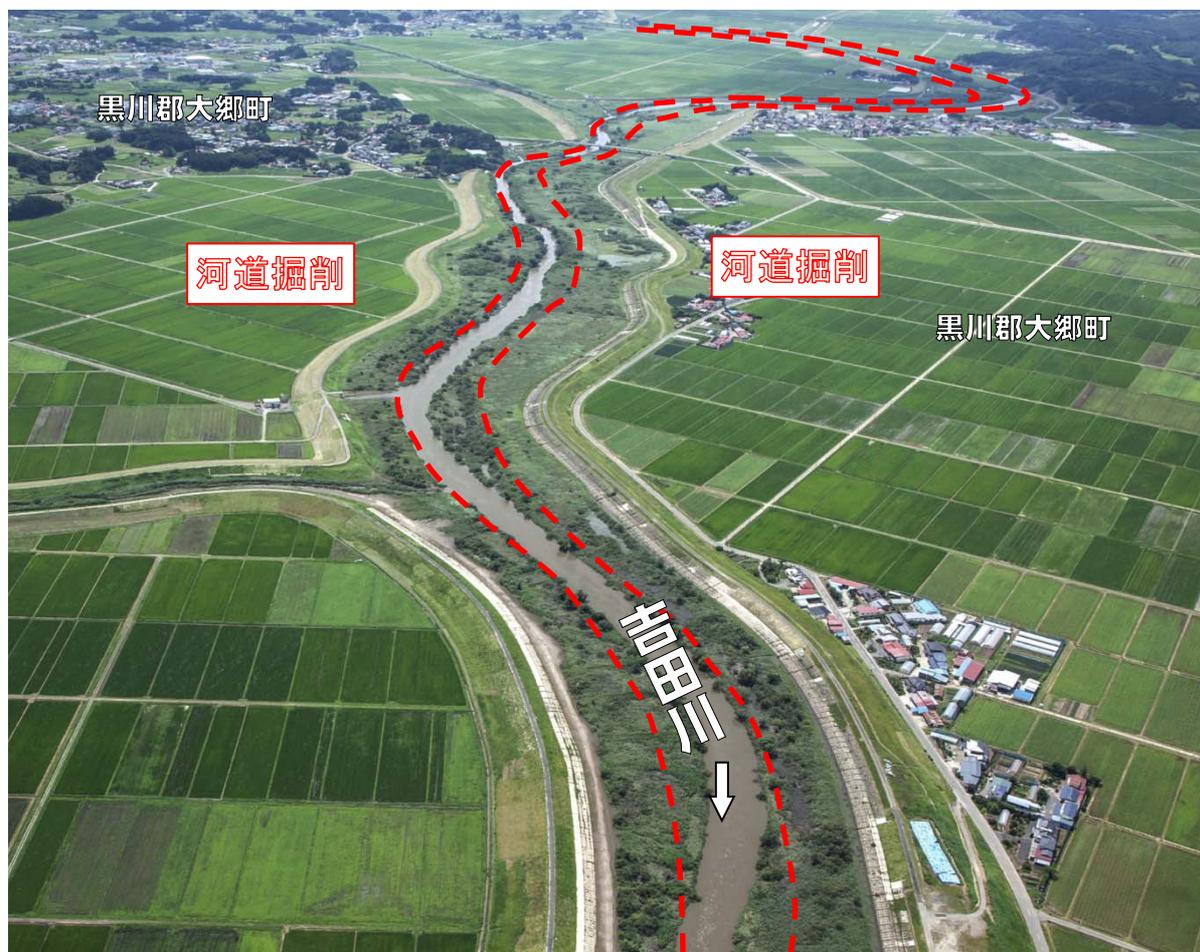
事業概要

吉田川上流地区は、沿川に国道4号、大和IC、工場、市街地があり、人口、産業や交通の要
点が集積しているものの、河川の流下能力が不足しているため、河道掘削などを行い治水安
全度の向上を図ります。

今年度は、特に、平成27年9月関東・東北豪雨による出水で、浸水被害等が発生しているこ
とから、河道掘削及び川幅を狭めている橋梁の架替えを行い、流水の疎通を高める整備によ
り、流下能力の向上を図ります。

吉田川中流地区河川改修事業

くろかわぐんたいわちよう、おおさとちよう
(黒川郡大和町、大郷町)



計画概要

- ① 事業年度 : 平成27年度～平成30年代(予定)
- ② 計画諸元 : 河道掘削
- ③ 平成28年度河川事業費: 約2,110百万円 ※鳴瀬川全体の河川改修費

事業概要

鳴瀬川水系の吉田川中流地区においては、人口・資産が集中しているものの、河川の流下力が不足しているため、河道掘削を行い治水安全度の向上を図ります。

今年度は、特に、平成27年9月関東・東北豪雨による出水で、吉田川中流地区全川で計画高水位を超過し、堤防越水による浸水被害が生じていることから、大和町及大郷町において河道掘削を実施し、流下能力の向上を図ります。

北上川下流狭隘地区河川改修事業 とめし (登米市)



計画概要

- ① 事業年度 : 平成28年度～平成32年度(予定)
- ② 計画諸元 : 堤防整備等
- ③ 平成28年度河川事業費: 約1,091百万円 ※北上川下流全体の河川改修費

事業概要

北上川下流狭隘地区は、洪水時の水位上昇が早く、洪水継続時間も長いという出水特性を有しており、近年では平成14年、平成19年と浸水被害が生じており、ハード・ソフト一体となった治水対策を実施します。

日根牛地区河川改修事業

とめし
(登米市)



計画概要

- ① 事業年度 : 平成20年度～平成30年代(予定)
- ② 計画諸元 : 堤防整備
- ③ 平成28年度河川事業費: 約1,091百万円 ※北上川下流全体の河川改修費

事業概要

北上川の左岸、登米市日根牛地区の堤防は幅や高さが不足しているほか、堤外地(※注)に家屋が存在しており、近年では平成10年、平成14年、平成19年と頻繁に浸水被害が生じています。このため、宮城県・登米市と連携して堤防強化を進め、浸水被害の解消と治水安全度の向上を図るもので、平成24年度から工事に着手しています。

今年度は、橋梁架替え、地盤改良、築堤・道路盛土を実施し、事業の推進を図ります。

(※注) 堤防を境に河川側の敷地を、堤防よりも外側という意味で「堤外地」と言う。

横川地区河川改修事業

いしのまきし
(石巻市)



計画概要

- ① 事業年度 : 平成21年度～平成29年度(予定)
- ② 計画諸元 : 堤防整備
- ③ 平成28年度河川事業費: 約1,091百万円 ※北上川下流全体の河川改修費

事業概要

北上川の右岸、石巻市横川地区の堤防は、幅や高さが不足している暫定堤防となっています。本地区は背後に山が迫っていることから、内水被害が発生しやすく、北上川下流にあるため洪水継続時間が長いことから、堤防強化を実施し、治水安全度の向上を図るものです。

今年度、引き続き堤防整備を行い、事業の推進を図ります。

江合川下流地区河川改修事業

いしのまきし わくやちょう
(石巻市、涌谷町)



計画概要

- ① 事業年度 : 平成27年度～平成30年度(予定)
- ② 計画諸元 : 河道掘削
- ③ 平成28年度河川事業費: 約1,091百万円 ※北上川下流全体の河川改修費

事業概要

江合川下流地区の背後地(涌谷町市街地)には、人口・資産が集中しているものの、江合川下流の流下能力が不足していることから、河道掘削を行い治水安全度の向上を図ります。

特に、平成27年9月関東・東北豪雨による出水で、計画高水位付近まで水位が上昇していることから、河道内の水位を低減させるため、江合川下流部の河道掘削を実施し、事業の推進を図ります。

「水防災意識社会 再構築ビジョン」 危機管理型ハード対策 (遠田郡美里町)



住民目線のソフト対策

河川管理者、県、市町村、水防管理団体等からなる協議会で減災のための目標を共有

住民等の行動につながるリスク情報の周知

事前の行動計画作成、訓練の促進

避難行動のきっかけとなる情報をリアルタイムで提供

ハザードマップの改良等

タイムラインの策定等

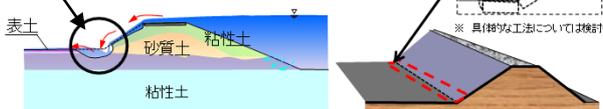
スマートフォンを活用したプッシュ型洪水予報の配信等

危機管理型ハード対策(堤防裏法尻の補強)

裏法尻をブロック等で補強し、越水した場合には深掘れの進行を遅らせることにより、決壊までの時間を少しでも延ばす

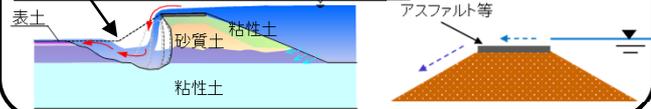
堤防裏法尻をブロック等で補強

※ 具体的な工法については検討中



危機管理型ハード対策(堤防天端舗装)

堤防天端をアスファルト等で保護し、堤防への雨水の浸透を抑制するとともに、越水した場合には法層部の崩壊の進行を遅らせることにより、決壊までの時間を少しでも延ばす



計画概要

- ① 事業年度 : 平成28年度～平成32年度(予定)
- ② 計画諸元 : 堤防天端舗装、堤防裏法尻補強
- ③ 平成28年度河川事業費: 約1,091百万円 ※北上川下流全体の河川改修費

事業概要

国土交通省では、「水防災意識社会 再構築ビジョン」※によるハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進することとしており、当事務所では、平成27年9月関東・東北豪雨で被害の大きかった鳴瀬川・吉田川・江合川において、大規模氾濫に対する減災に向けた取組みを、国、県、市町村が連携・協力して、計画的に推進するため「鳴瀬川等大規模氾濫時の減災対策協議会」を3月18日に開催しております。

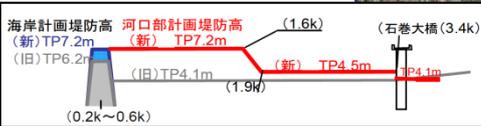
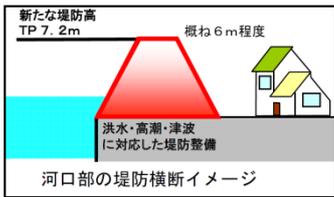
今年度は、特に、平成27年9月関東・東北豪雨による出水で水位も高く、背後資産の大きい遠田郡美里町において、「危機管理型ハード対策」として堤防裏法尻補強を行います。

※【水防災意識社会 再構築ビジョン】アドレス
http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000899.html

旧北上川河口部復旧・復興事業

いしのまきし
(石巻市)

築堤護岸延長 : 約 18.1 km
導流堤延長 : 約 1.2 km
全体延長 : 約 19.3 km



事業の進捗状況 (H28年3月末見込)

◆護岸工事(延長ベース)		◆導流堤・築堤工事(延長ベース)	
H24.3末	着手5%	H24.3末	未着手
H25.3末	着手69%	H25.3末	着手17%
H26.3末	完成39% 着手73%	H26.3末	着手17%
H27.3末	完成59% 着手63%	H27.3末	着手14% 設計延長を見直し
H28.3末	着手・完成64%	H28.3末	着手32% 完成11%
◆用地協議 契約率(取得面積ベース)			
H24.3末	未着手		
H25.3末	未着手		
H26.3末	契約21%		
H27.3末	契約42%		
H28.3末	契約62%		

事業概要

平成23年の東日本大震災により甚大な被害を受けた旧北上川河口部の堤防敷にかかる用地取得を推進するとともに、堤防整備、液状化対策、浸水対策のための護岸整備を実施します。

◎ 平成28年度事業費(北上川下流全体)

災害復旧事業(復興庁計上分) : 約7,012百万円

東日本大震災復興河川整備事業(復興庁計上分) : 約7,713百万円

石巻地区かわまちづくり事業

いしのまきし
(石巻市)



中央地区



中央地区整備イメージ

計画概要

- ① 事業年度 : 平成26年度～平成35年度(予定)
- ② 計画諸元 : 石積護岸、捨石(護岸修景)、自然護岸(植生・捨石)親水階段(かわど)、階段 等
- ③ 平成28年度河川事業費: 約101百万円 ※北上川下流全体の総合水系環境整備事業費

事業概要

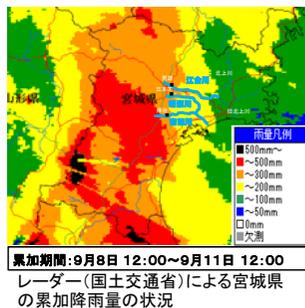
石巻市では「石巻震災復興基本計画」及び「水辺の緑のpromenade計画」において、堤防整備と併せてpromenadeを整備し、水辺と親しむことができる空間づくりを目指しています。

本計画では、震災からの復旧・復興の堤防整備や土地区画整理と併せ、国土交通省が親水護岸や管理用通路などを整備するとともに、石巻市が拠点施設の整備や休憩施設等を整備することにより、災害に強く地域住民が安全に生活できる居住環境を確保した上で、市民や観光が賑わい集い交流できる水辺空間を創出し、地域の活性化を推進します。

平成27年9月関東・東北豪雨による出水を踏まえた治水対策事業箇所図

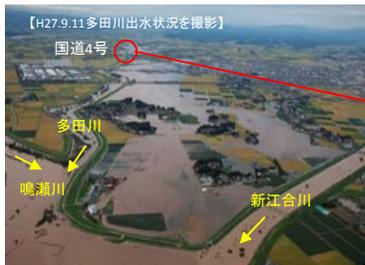
平成27年9月関東・東北豪雨により、北上川下流河川事務所管内の江合川、鳴瀬川、吉田川において、堤防越水、漏水被害や堤防天端付近まで水位が上昇したこと等により大きな被害を生じ、それに伴い、地域の安全安心が脅かされました。

北上川下流河川事務所では、H27災害対策等緊急事業推進費、H27補正予算、災害復旧事業費により、河道掘削、堤防嵩上げ、堤防補強対策、護岸復旧等を行い、事業の推進を図っていきます。



【雨量の状況】

- 宮城県内では、県中部（吉田川、鳴瀬川の流域）で、記録的な豪雨（出水）となった。
- 国土交通省管理の雨量観測所において、記録的な降水量を観測。
 - ・三本木雨量観測所（鳴瀬川）310.4mm/2日（観測史上第1位）
 - ・落合雨量観測所（吉田川）324.0mm/2日（観測史上第2位）
 - ・荒雄雨量観測所（江合川）219.2mm/2日（観測史上第6位）



凡例	
 	H27災害推進費（2箇所） H27補正予算（34箇所）
 	災害復旧費（H27、H28）（7箇所）
 	H28年度予算（6箇所）